



ユニチカ株式会社

# 2025年3月期 第1四半期 決算の概要

2024年8月6日

## 2025年 3月期 1Q実績

- 食品包装用途の需要は必ずしも回復傾向とは言えない中、流通在庫の整理が進み、当社への受注が回復。電気電子用途においては、半導体関連用途の需要が回復。これらにより、高分子事業、機能資材事業の売上高が伸長した。一方で繊維事業については、一般衣料、寝装品等の需要が低迷しており苦戦した。
- 原燃料価格の上昇、円安によるコストアップ等のマイナス影響に対し、価格改定とコストダウン施策の実行により、マイナス影響を補完。販売増による効果も相まって前年同四半期の営業赤字から脱却した。

## 2025年 3月期 2Qおよび 通期業績予想

- 価格改定やコストダウン施策の効果発現が前倒しで進んでおり、第2四半期累計期間の業績予想を以下の通り修正。

5月公表	売上高: 580	営業利益: 11	経常利益: 4	四半期純利益: 2 (億円)
今回予想	売上高: 590	営業利益: 14	経常利益: 5	四半期純利益: 2 (億円)
- 一方で、原燃料価格の高騰や為替レートの推移など、不透明な要素が多いため、通期の業績については5月公表の予想を据え置く。
- 通期の売上高は1,200億円（前期比+17億円）、営業利益は30億円（同+55億円）、当期純利益は4億円（同+58億円）を見込む。

- 1 2025年3月期 第1四半期決算概要**
- 2 各事業セグメントの状況**
- 3 2025年3月期 通期業績予想**

## 売上高

**307億円** (前年同四半期 279億円 / 前年同四半期比 +27億円)

食品包装用途、電気電子用途を中心に販売数量が回復。販売数量増と各製品の価格改定の効果により、前年同四半期比9.7%の増収。

## 営業利益

**12億円** (前年同四半期 ▲7億円 / 前年同四半期比 +18億円)

原燃料価格の上昇や円安によるコストアップに対し、価格改定、コストダウン施策の実行、および販売数量増の効果により、前年同四半期の赤字から黒字へと脱却。

## 経常利益

**27億円** (前年同四半期 8億円 / 前年同四半期比 +19億円)

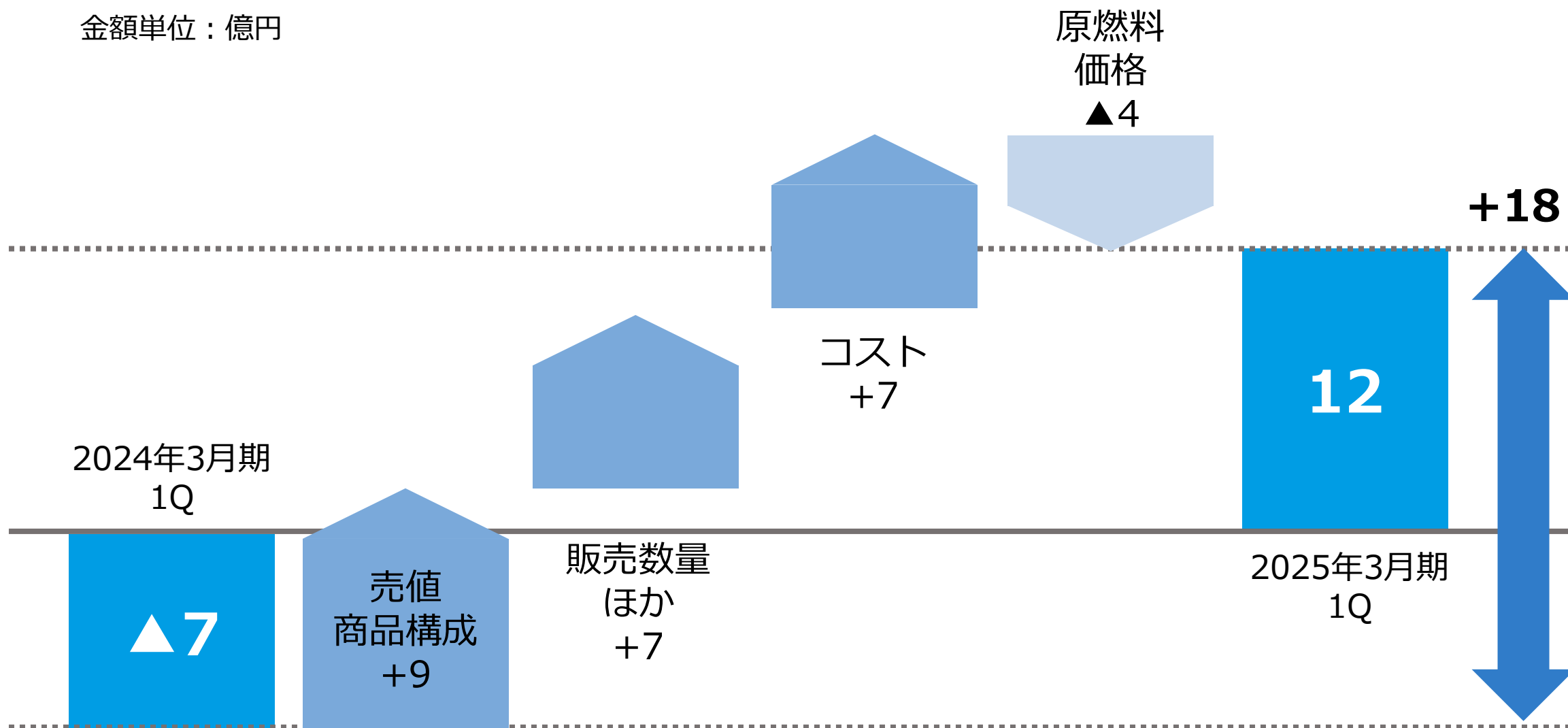
円安による外貨建資産の評価益を中心に、為替差益15億円を計上。  
2024年3月末為替レート：1ドル=151円に対し、6月末：1ドル=161円

親会社株主に  
帰属する  
四半期純利益**20億円** (前年同四半期 2億円 / 前年同四半期比 +17億円)

連結合計 (単位：億円)	2023年3月期 1Q実績	2024年3月期 1Q実績	2025年3月期 1Q実績	前々年 同四半期比	前年 同四半期比
売上高	296	279	307	+11	+27
売上総利益	66	47	61	▲5	+14
営業利益	10	▲7	12	+2	+18
営業利益率	(3.3%)	(▲2.4%)	(3.8%)	—	—
経常利益	28	8	27	▲1	+19
特別利益	0	0	2	+2	+2
特別損失	2	2	1	▲1	▲0
親会社株主に帰属する 四半期純利益	20	2	20	▲1	+17
減価償却費*	10	13	12	+1	▲1
設備投資*	18	12	13	▲6	+0

\* 減価償却費、設備投資額は無形固定資産分を含まない

金額単位：億円



セグメント別 (金額単位：億円)	2024年3月期 1Q	2025年3月期 1Q	前年同四半期比増減	
			金額	率
売上高	279	307	+27	+9.7%
高分子事業	127	141	+14	+11.0%
機能資材事業	79	93	+13	+16.8%
繊維事業	73	72	▲0	▲0.3%
その他	0	0	+0	+28.6%
営業利益	▲7	12	+18	-
高分子事業	2	15	+13	+768.4%
機能資材事業	▲7	▲0	+7	-
繊維事業	▲2	▲2	▲0	-
その他	0	▲0	▲1	-

金額単位：億円		2024年 3月期1Q	2025年 3月期1Q	増減
売上高		127	141	+14
	フィルム	85	90	+5
	樹脂	32	34	+3
	他	11	17	+6
営業利益		2	15	+13

## フィルム事業

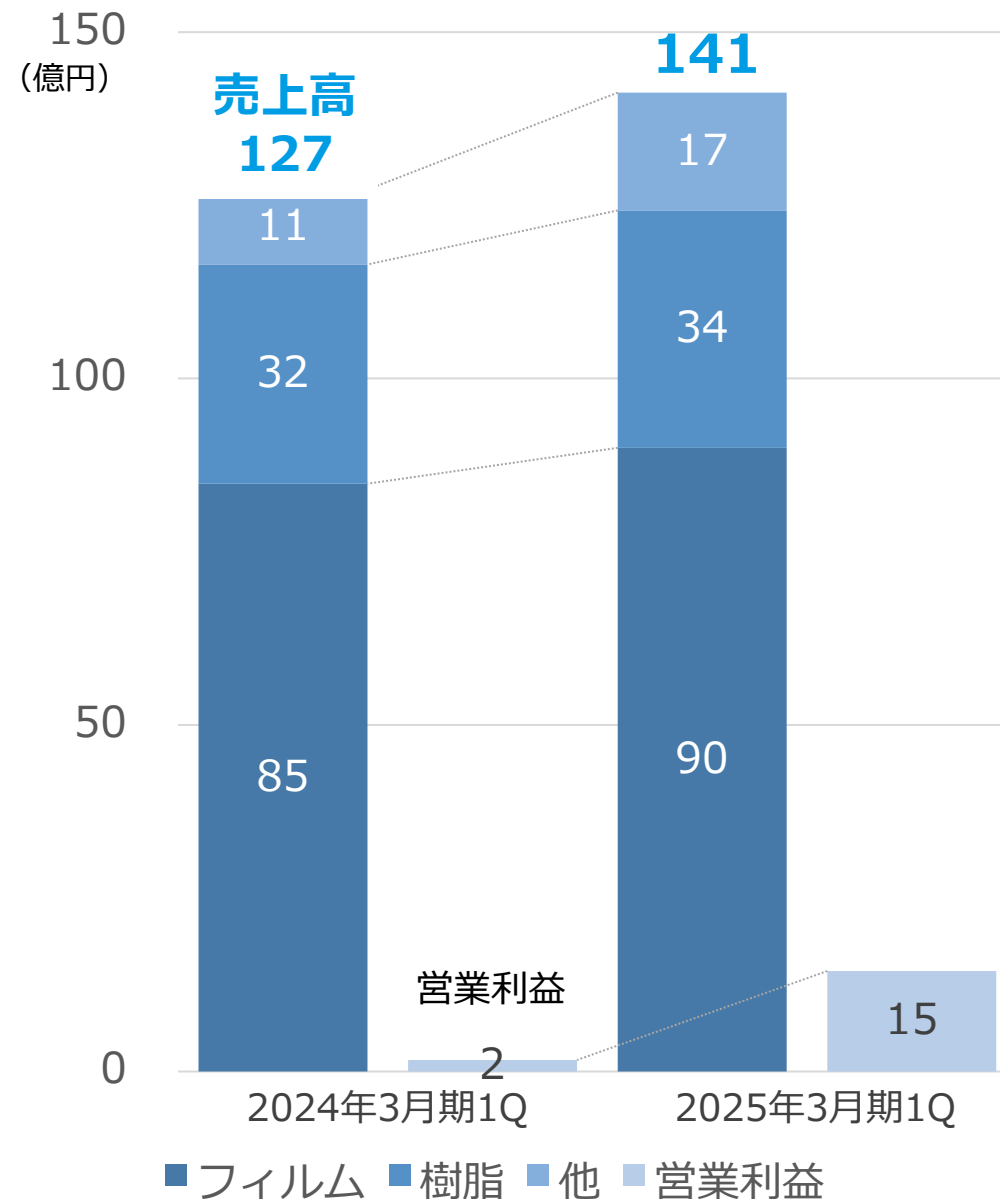
包装用フィルムは流通在庫の整理が進み受注が回復。ハイバリアナイロンフィルム「エンブレムHG」の販売は引き続き伸長。工業用フィルムは、電気電子・半導体用途の需要が回復した。

## 樹脂事業

エンブラは川下の需要低迷が続いているが、価格改定の実施により売上高は横ばい。機能樹脂は変性ポリオレフィンエマルジョン「アローベース」の販売が伸長。

## セグメント営業利益

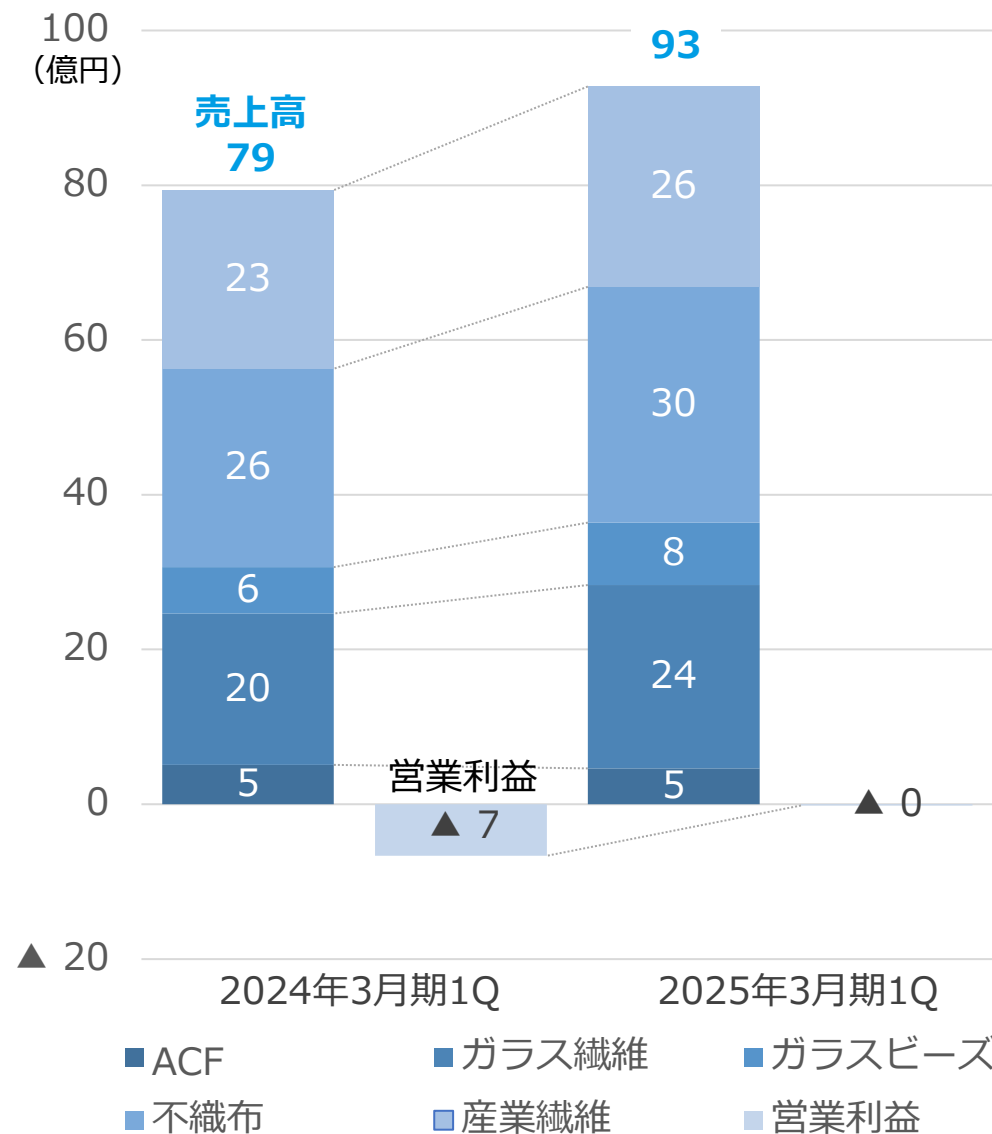
生産量の回復、コストダウン施策の効果、および価格改定の効果が、円安と原燃料価格高止まりの影響を上回り、収益が改善した。





金額単位：億円

	2024年 3月期1Q	2025年 3月期1Q	増減
売上高	79	93	+13
活性炭繊維 (ACF)	5	5	▲0
ガラス繊維	20	24	+4
ガラスビーズ	6	8	+2
不織布	26	30	+5
産業繊維	23	26	+3
営業利益	▲7	▲0	+7



## 活性炭繊維 (ACF) 事業

浄水用途は巣ごもり需要一段落の影響で販売減。VOC除去シートも販売苦戦。

## ガラス繊維事業

産業資材分野は各用途で堅調。電子材料分野は、半導体市況の回復を受け、パッケージ基板向け高機能ガラスクロスを中心に販売量が回復。

## ガラスビーズ事業

道路用、工業用とも需要が伸びない中、価格改定で売上高維持。

## 不織布事業

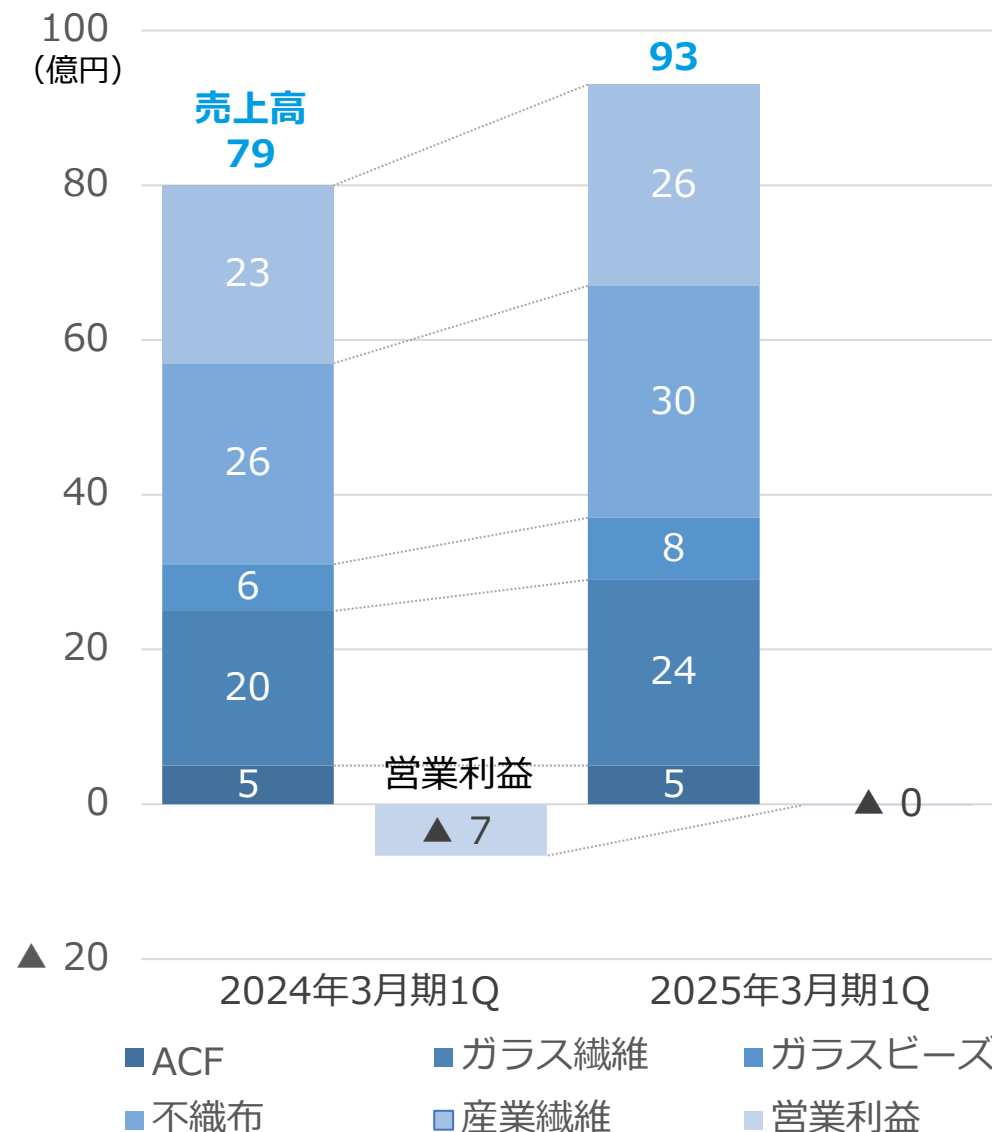
一般消費財向け、土木用途などで販売が回復。コットンспанレースの販売量も回復。原料価格上昇や海上運賃高騰により損益面では苦戦。

## 産業繊維事業

フィルター用途の販売が好調で売上高は増加。主に高強力糸において、生産量が減少しコストアップにつながった。

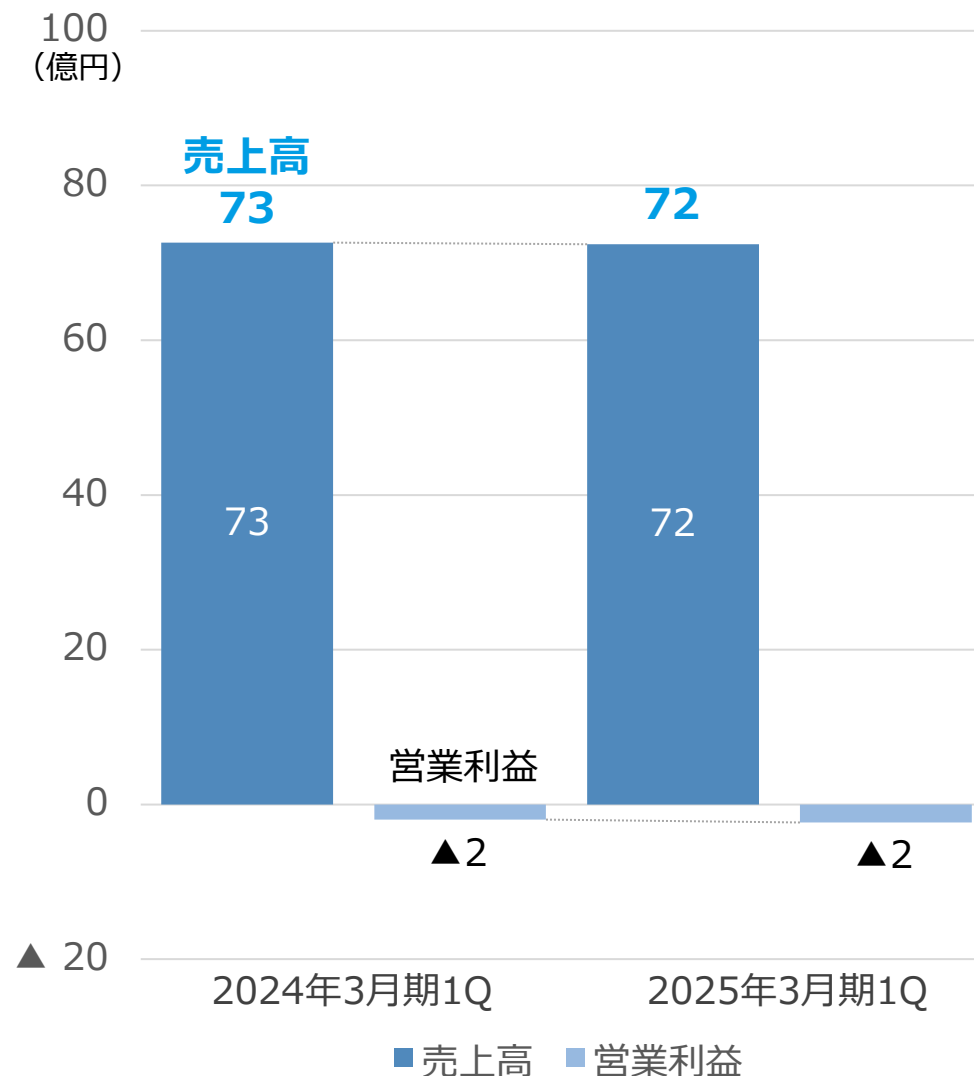
## セグメント営業利益

販売数量の回復により生産数量も回復。コストダウン施策の効果と合わせ、収益性が改善したが、黒字化にはわずかに届かなかった。



金額単位：億円

	2024年 3月期1Q	2025年 3月期1Q	増減
売上高	73	72	▲0
衣料繊維・他	73	72	▲0
営業利益	▲2	▲2	▲0



## 衣料繊維事業

ユニフォームの販売はおおむね堅調であったが、一般衣料、寝装分野の販売で苦戦。

## 産業資材事業・グローバル事業

産業資材事業は用途によって状況は異なるが、全体での販売状況は横ばい。グローバル事業はデニム生地 of 輸出販売が回復した。

## セグメント営業利益

円安によるコストアップ影響が大きく、価格改定の効果を上回った。

(金額単位：億円)	2024年 3月期実績	2025年 3月期予想	前期比 増減	2025年 3月期 1Q実績	対予想 進捗率
売上高	1,183	1,200	+17	307	25.5%
営業利益	▲25	30	+55	12	38.9%
経常利益	▲10	14	+24	27	191.0%
親会社株主に帰属する 当期純利益	▲54	4	+58	20	494.0%

※通期業績予想は、2024年5月に公表した予想から変更ありません。

(金額単位：億円)		2022年	2022年	2022年	2022年	2023年	2023年	2023年	2023年	2024年
		1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
売上高		296	295	291	298	279	301	285	318	307
	高分子	127	125	124	124	127	133	125	126	141
	機能資材	89	88	84	82	79	86	85	92	93
	繊維	80	81	82	92	73	82	75	101	72
	その他、連結調整	0	0	0	0	0	0	0	0	0
営業利益		10	5	3	▲4	▲7	▲11	▲8	1	12
	高分子	13	10	9	1	2	▲1	1	4	15
	機能資材	1	▲0	▲2	▲5	▲7	▲8	▲6	▲4	▲0
	繊維	▲5	▲4	▲4	▲0	▲2	▲3	▲3	2	▲2
	その他、連結調整	▲0	▲0	▲0	▲0	0	▲0	▲0	▲0	▲0

(金額単位：億円)		2022年	2022年	2022年	2022年	2023年	2023年	2023年	2023年	2024年
		1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
<b>高分子</b>		<b>127</b>	<b>125</b>	<b>124</b>	<b>124</b>	<b>127</b>	<b>133</b>	<b>125</b>	<b>125</b>	<b>141</b>
	フィルム	86	85	79	84	85	84	82	85	90
	樹脂	31	32	31	32	32	32	35	35	34
	その他	10	8	15	8	11	17	8	5	17
<b>機能資材</b>		<b>89</b>	<b>88</b>	<b>84</b>	<b>82</b>	<b>79</b>	<b>86</b>	<b>85</b>	<b>92</b>	<b>93</b>
	ACF	5	5	5	5	5	5	5	5	5
	ガラス繊維	24	22	19	18	20	23	23	24	24
	ガラスビーズ	7	7	7	6	6	6	7	8	8
	不織布	30	31	29	29	26	28	28	31	30
	産業繊維	23	23	24	24	23	23	22	24	26
<b>繊維</b>		<b>80</b>	<b>81</b>	<b>82</b>	<b>92</b>	<b>73</b>	<b>82</b>	<b>75</b>	<b>101</b>	<b>72</b>

## ご注意

**本資料中の見通しや目標等、将来に関する記載事項は、  
本資料作成時点において  
入手可能な情報に基づいて作成したものであり、  
実際の業績等は、今後の種々の要因によって、  
本資料の記載事項と異なる場合がありますことをご了承ください。**